

東条川疏水テーマに講演 小野でシンポ 朗読劇なども

「東条川疏水の日」の23日、小野市うるおい交流館エクラ（小野市中島町）で、東条川疏水ネットワーク博物館に関するシンポジウム



東条川疏水をテーマにした朗読劇を演じる劇団員ら
＝小野市うるおい交流館エクラ

があつた。今年と同博物館構想が2011年度に策定されて10年目。シンポに先立って開かれた同博物館会議の総会では加盟団体以外にも参加を促すなど今後の活動方針も決めた。
シンポでは同博物館会議

を構成する県や小野、加東市、各種団体の代表、住民ら約130人が参加。大阪の劇団による朗読劇に続き、NPO法人「共存の森ネットワーク」の澁澤寿一理事長が「地域の水と想いを引き継いでいく」をテーマに基調講演した。

その後、澁澤理事長や同博物館会議の活動「疏水をめぐる聞き書き」で、語り手や聞き手を務めた住民らが意見交換。兵庫教育大学大学院生時代に聞き手を務め、現在は丹波市で教員をしている男性は「何気ない話をすることで相手の本音を聞けることもある。聞き書きの経験が現在に生きている」などと説明していた。

（小日向務）